

## 「アルドステロン《CLEIA》、レニン濃度《CLEIA》」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきましては、本年4月1日より現行RIA試薬からCLEIA試薬への切替を行う旨をご案内申し上げました（INF20-03）。

この度、ご案内致しましたCLEIA試薬の基準値（RIA法基準値を踏襲）につきまして、本年4月1日より新たにCLEIA試薬として設定した基準値への変更を行いますので、改めてご案内致します。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 対象項目

- [551] アルドステロン〈血漿〉《CLEIA》
- [632] レニン濃度（PRC）《CLEIA》

※変更後の検査項目《CLEIA》としてご案内致します。

なお、[559] アルドステロン〈尿〉《CLEIA》の基準値変更はございません。

### 変更期日

- 2020年4月1日（水）受付日分より

## アルドステロン〈血漿〉の検査要項

過日ご案内したCLEIA法試薬の基準値について、添付文書記載値に変更する旨をご案内致しました。これは、従来のRIA法での基準値を踏襲した値が設定されていましたが、この度、試薬製造・販売元においてCLEIA法としての基準値が取得されたことを受け、下記の通り基準値の変更を行います。なお、尿中アルドステロンも同様にRIA法での基準値を踏襲して設定されていますが、基準値の変更はございません。

変更内容	新	旧
検査項目名	アルドステロン《CLEIA》	アルドステロン
検査方法	CLEIA	RIA（チューブ固相法）
検体量	EDTA血漿 0.5mL <sup>*1,2</sup> [採取容器：14番 → 提出容器：02番]	同左
保存方法	凍結	同左
基準値 <sup>*3</sup>	173以下（随時）（pg/mL）	36～240（随時）（pg/mL） 30～159（臥位） 39～307（立位）
報告下限	25.0 pg/mL 未満	7 pg/mL 未満
報告上限	800,000 pg/mL 以上	999,000 pg/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁	整数、有効3桁
所要日数	2～4日	同左
検査実施料/判断料	125点 <sup>*4</sup> ／生化学的検査（Ⅱ）判断料	128点／生化学的検査（Ⅱ）判断料
備考	<p>*1：採血時刻、安静度、体位によって測定値に差が出ますので、早朝空腹時30分間安静後の採血をお勧め致します。</p> <p>*2：検体は採血後、速やかに遠心分離して下さい。（血清も検査可）</p> <p>*3：血清基準値：170 pg/mL 以下（随時）</p> <p>*4：診療報酬改定により、4月1日から変更されます。</p>	

## レニン濃度の検査要項

変更内容	新	旧
検査項目名	レニン濃度《CLEIA》	レニン濃度（PRC）
検査方法	CLEIA	IRMA（ビーズ固相法）
検体量	EDTA血漿 0.5mL <sup>*1,2</sup> [採取容器：14番 → 提出容器：02番]	EDTA血漿 0.5mL [採取容器：14番 → 提出容器：02番]
保存方法	凍結（-20℃以下）	同左
基準値 <sup>*3</sup>	1.2～35.4（随時）（pg/mL）	2.5～21.4（安静臥位）（pg/mL） 3.6～63.7（立位歩行）
報告下限	1.0 pg/mL 未満	2.0 pg/mL 未満
報告上限	5,000 pg/mL 以上	999,000 pg/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁	同左
所要日数	2～4日	2～5日
検査実施料/判断料	108点 <sup>*4</sup> ／生化学的検査（Ⅱ）判断料	111点／生化学的検査（Ⅱ）判断料
備考	<p>*1：採血時刻、安静度、体位によって測定値に差が出ますので、早朝空腹時30分間安静後の採血をお勧め致します。</p> <p>*2：検体は採血後、速やかに遠心分離して下さい。（血清も検査可）</p> <p>*3：血清基準値：1.5～42.0 pg/mL 以下（随時）</p> <p>*4：診療報酬改定により、4月1日から実施料が変更されます。</p>	